

# 光葉同窓会メールマガジン

<2024年5月号>



203号 2024.5.01 配信

新緑が眩しい5月となりました。ちょうど1年前の連休明けに、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、世田谷のキャンパスでは、様々な活動がコロナ禍前と変わらぬ形で行われています。3月末からは光葉同窓会のホームページのデザインが新しくなりました。必要な情報を皆様のもとに確実にお届けできるよう、よりよい形を目指してまいります。ご意見やご要望があれば、事務局までお知らせください。

そしてこの5月は、全国の同窓生の皆様とお会いできる、総会の月でもあります。母校でのひとときをご一緒しませんか。皆様のお越しを心よりお待ちしております。（常任委員 山本晶子）

## ◇金子朝子名誉学長 瑞宝中綬章を受章

金子朝子会長が、春の叙勲で、公共的な職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し、重要と認められる職務をはたし成績をあげた人に対して授与される瑞宝中綬章を受章されました。

金子会長は、1971年本学英米文学科を卒業後、昭和女子大学で多くの要職を歴任され、文部科学省中学校英語学習指導要領の作成、海外での学会活動にも長らく携わってこられました。

2016年4月から2020年3月まで、本学の卒業生で初めての学長に就任され、2017年4月からは、附属昭和中学校高等学校校長も兼任し、多大な功績を残されました。

2022年4月から、第8代光葉同窓会会長に就任し、同窓会活動の活性化に尽力されています。輝かしい栄誉心からお祝い申し上げます。

## ◇入学式で祝電を披露

4月2日、人見記念講堂で入学式が執り行われ、会長が出席しました。当日、33支部からの祝電をロビーで展示し、参加された方にご覧いただきました。

祝電を撮影し、光葉同窓会掲示板で掲載しました。

新入生に入学のお祝いとして、光葉同窓会オリジナルA4クリアファイル3枚組をお贈りしました。



## ◇光葉同窓会5月の活動

- ・全国支部長会開催 支部長会 5月18日(土) 13:30~15:30 懇親会 16:30~18:30
- ・第51回総会・懇親会開催 5月19日(日) 11:00~14:15 学園本部館大会議室

## ◇支部会開催

- ・5月26日(日) 石川県支部

◇光葉同窓会は、5月2日(木)~6日(月)まで連休になります。

## ◇昭和女子大学創立記念日

1920年、創立者人見圓吉先生と夫人の緑先生の発意のもと、5人の同士の先生方と日本女子高等学院を設立しました。5月2日、創立104周年を迎え、5月1日には記念式が行われます。

## 広げよう光の葉

小山内 直美 さん

1995年日本文学科卒業

### 「不思議な縁」

「お母さんの行っていた大学って人気があるんだね。」

大学進学を希望している高校2年生の娘が、スマホをのぞき込みながら話しかけてきました。幼稚園に行きたくないと泣いて駄々をこねていたのが昨日のようです。いつの間にかあと1年で、私がドキドキしながら渋谷駅に降り立ち、右往左往しながら新玉川線（2000年に田園都市線に統合）に乗り込んだ年と同じ18歳となります。

私が昭和女子大学進学を決めたのは、恩師の影響です。高校時代、現代国語の恩師が昭和女子大学の出身で、授業のちょっとした時間に寮生活や大学生活のことを、愉快地、そしてどことなく優雅な雰囲気を出しながらお話してくださいました。私はその時間が大好きで、想像を膨らませながら聞いていました。東京への大学進学は全く考えていなかった県立女子高の一生徒だった私でしたが、進路決定をしなくてはならない頃には、昭和女子大学に親近感と憧れをもつようになっていました。背伸びをして大人ぶりたい年頃でもあり、周りには、「いまだ寮生活なんてありえない、門限があるなんて。」などと、強がって文句は言っているものの、親元を離れての生活で、それも東京、こわいけど何とかやっていけるかもしれない、この大学なら大丈夫と安堵している自分がいました。

大学1年生の寮生活のおかげで、違う学科の友人もでき、初めてづくしの大学生活の不安を最小限にすることができました。今でも、好んでコンサートや講演会に行くのは、大学の文化講座があったおかげです。

そして、仕事で大変なときは「世の光になろう」という言葉を思い出し、励まされています。

1月21日に、光葉同窓会青森県支部会が開かれました。もちろん、私の進路を決定づけてくださった恩師も出席され、テーブルを囲み和やかなひとときを過ごすことができました。会の最後に校歌を歌いながら、不思議な縁をかみしめていました。

私は、八戸市で中学校国語教員として27年になります。恩師とは、教員になった4年目に、連携型中高一貫教育指定校という縁で、高校の校長先生と中学校の一教諭として再会を果たすことができました。

「大学キャンパスツアーで、昭和女子大学も見てくるね。」そう言って、見学してきた娘が、同じ大学を選択する縁があるかどうかはわかりませんが、私が大学4年間で得たものは、娘に、そして教え子たちに託していきたいと思っています。 【End】

